



豊里

認知症予防にポン・チー・ロン

「健康マージャンの会in豊里」(登米市社会福祉協議会豊里支所主催)は6月5日、豊里高齢者趣味の交流館で開かれ、参加者が健康マージャンを楽しみました。

健康マージャンは、毎月第1・3水曜日に開催。図柄の組み合わせを考えたり、指先を使ったりすることで、認知症予防に効果があるといわれています。参加者は、4人1組でテーブルを囲み、会話を楽しみながらポン、チー、ロンと元気な掛け声を上げていました。

どんな仕事をしているのかな

放課後子ども教室「どんなお仕事しているのかな」は5月30日、米山東小学校(加瀬谷知子校長、児童164人)で開かれ、児童30人が参加しました。

子ども教室では、毎回さまざまな職種の人が講師になり、それぞれの仕事内容を教えています。今回は、米山総合支所の小林明美保健師が講師になり、保健師の仕事について紹介。子どもたちは、クイズをしたり話を聞いたりしながら、仕事への理解を深めました。



米山



迫

令和最初の飛躍を誓う結団式

「登米市スポーツ少年団迫支部結団式」(同支部主催、佐藤砂登史支部長)は5月21日、迫体育館で開かれ、28団体、約420人が大会での活躍を誓いました。

市スポーツ少年団は、地域の保護者や指導者の協力を得ながら、青少年スポーツ活動の中心的存在として活動。結団式では、各団体の代表選手がチームの紹介や目標、決意などを発表し、会場は団員たちへの惜しみない拍手とエールに包まれました。



石越

住宅の無火災継続千日を達成

「登米市石越支部婦人防火クラブ総会」(小野寺恵子会長)は4月24日、石越公民館で開かれ、登米市婦人防火クラブ(佐藤千賀子会長)から石越地区の住宅無火災千日を達成した石越支部婦人防火クラブへ表彰状が贈られました。

同地区は、防災訓練、火災予防運動などの取り組みにより、2016年6月から住宅無火災を継続。19年3月19日に無火災継続千日を達成しました。出席者らは、火災予防の普及、啓発への思いを新たにしていました。

交通ルールを守り安全に登校

「登米町わらすこかたり隊による声掛け運動」(登米町老人クラブ連合会主催、及川潔会長)は5月13日、登米小学校周辺で実施され、隊員と登米警察署員が安全を呼び掛けました。

隊員らは、登米小周辺の4カ所に立ち、交通安全の啓発チラシとウエットティッシュを配布。交通ルールを守り、安全に登校するように呼び掛けました。参加者が「おはよう」と声を掛けると、児童から元気なあいさつが返り、爽やかな朝を迎えました。



登米

親睦を深める運動会と慰労会

「南方ふれあい運動会」(南方コミュニティ運営協議会主催、高橋良治会長)は5月26日、南方中央運動広場で開かれ、約1500人の参加者が爽やかな汗を流しました。

運動会は、たる転がしリレーや年代別長靴リレーなど、ユニークで誰もが楽しめる5種目の競技を実施。全ての行政区が全種目に参加し、笑顔あふれる楽しい運動会になりました。運動会終了後は、各地区集会所で慰労会を開き、親睦を深めました。



南方



東和

中総体前哨戦白熱する飯塚杯

「第67回飯塚杯争奪登米市中学校ソフトテニス大会」(登米市東和地区体育協会主催、岩淵正宏会長)は5月3日、東和総合運動公園テニスコートで開かれ、約280人の選手が熱戦を繰り広げました。

大会は、学校対抗による団体戦で競われるため、中総体の前哨戦と呼ばれています。選手の大きな掛け声が会場中に響き渡り、懸命にプレーする姿に、観客から大きな声援が送られていました。



津山

児童が地元産業を五感で体感

横山小学校3年生の「社会科見学」は5月23日、学校支援ボランティアの堀田公雄さん=津山町横山2区=が所有するワサビ田で開かれ、16人が参加しました。

堀田さんのワサビは、沢水を引き、農薬や肥料を一切使用せず栽培しています。社会科見学では、地元産業であるワサビ田の歴史と横山の地形を利用した栽培方法について学習。子どもたちは、採れたてのワサビを使ったワサビご飯を試食し、全て完食していました。

東京から古里へ思いをさせて

「東京中田会総会」(同会主催、小峯喜八会長)は6月1日、東京都台東区の「東天紅」で開かれ、会員74人が出席し、親睦を深めました。

総会では、同会の会報誌「えんつこ」が出席者に贈られ、総会終了後に懇親会を開催。キュウリや登米産仙台牛、大泉ポークなど地元食材を使用した料理がテーブルに並び、古里の味を堪能しました。参加者は近況や思い出話を花を咲かせ、会場は大いに盛り上がりました。



中田